

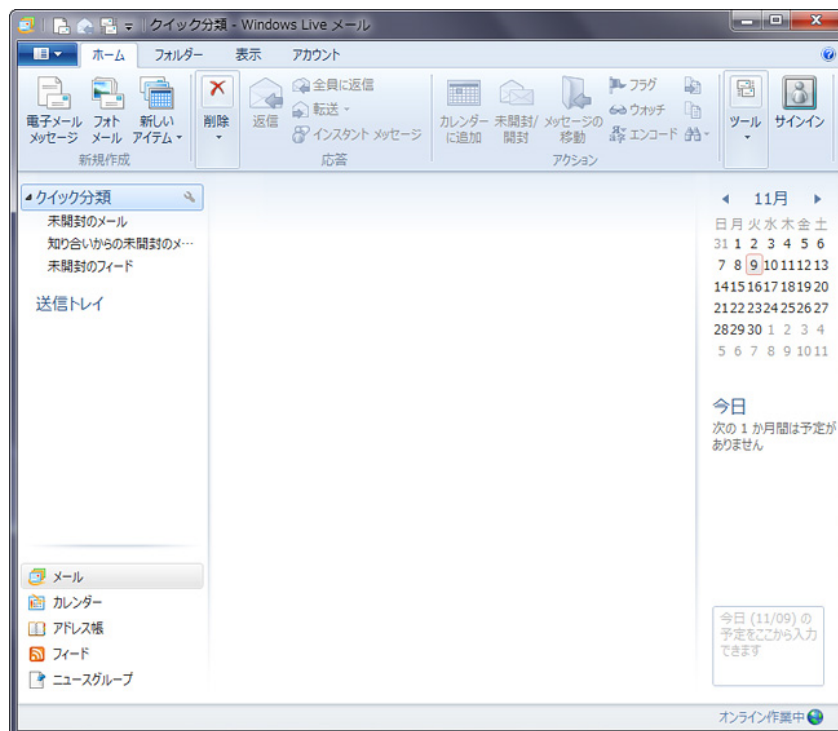


# Windows Liveメール 2012/2011

## メールソフト設定方法

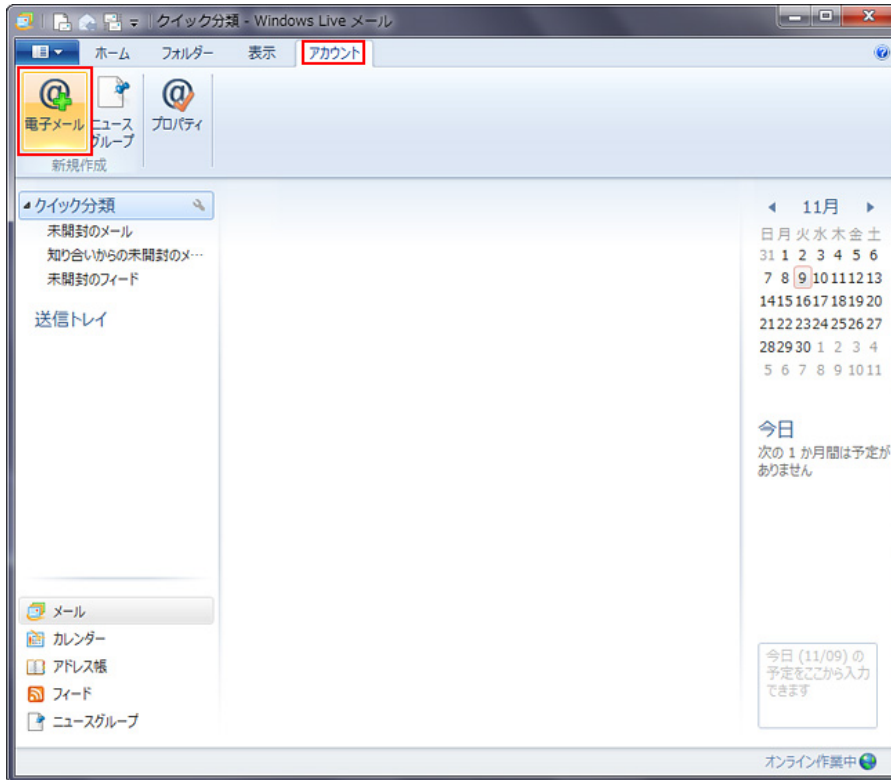


### WindowsLiveメール2011/2012 を起動



STEP  
2

## アカウントを選択し 電子メールを選択します



STEP  
3

## 設定資料の通り①③を入力し 手動でサーバー設定を構成するを選択

自分の電子メール アカウントを追加する  
Windows Live ID をお持ちの場合はここでサインインしてください。  
[Windows Live にサインイン](#)

電子メール アドレス:  
① taro@interline.or.jp  
[新しくメール アドレスを作成する方はこちら](#)

パスワード:  
③  
 パスワードを保存する(B)

表示名:  
Taro Yamada

手動でサーバー設定を構成する(C)

Windows Live メール ではほとんどの電子メール アカウントをお使いになれます。たとえば  
Hotmail  
Gmail  
などが利用可能です。

キャンセル 次へ

※ パスワード入力時、セキュリティ保護のためパスワードは (●) で表示されます。

STEP  
4

## 設定資料の通り②④⑤を入力し 次へを選択

Windows Live メール

### サーバー設定を構成

電子メール サーバーの設定がわからない場合は、ISP またはネットワーク管理者に連絡してください。

受信サーバー情報

サーバーの種類: POP

サーバーのアドレス: ④ ポート: 110

セキュリティで保護された接続 (SSL) が必要(R)

次を使用して認証する: クリア テキスト

ログイン ユーザー名: ② taro@interline.or.jp

送信サーバー情報

サーバーのアドレス: ⑤ ポート: 587

セキュリティで保護された接続 (SSL) が必要(R)

認証が必要(A)

キャンセル 戻る 次へ

STEP  
5

## 完了

Windows Live メール

### 電子メール アカウントが追加されました

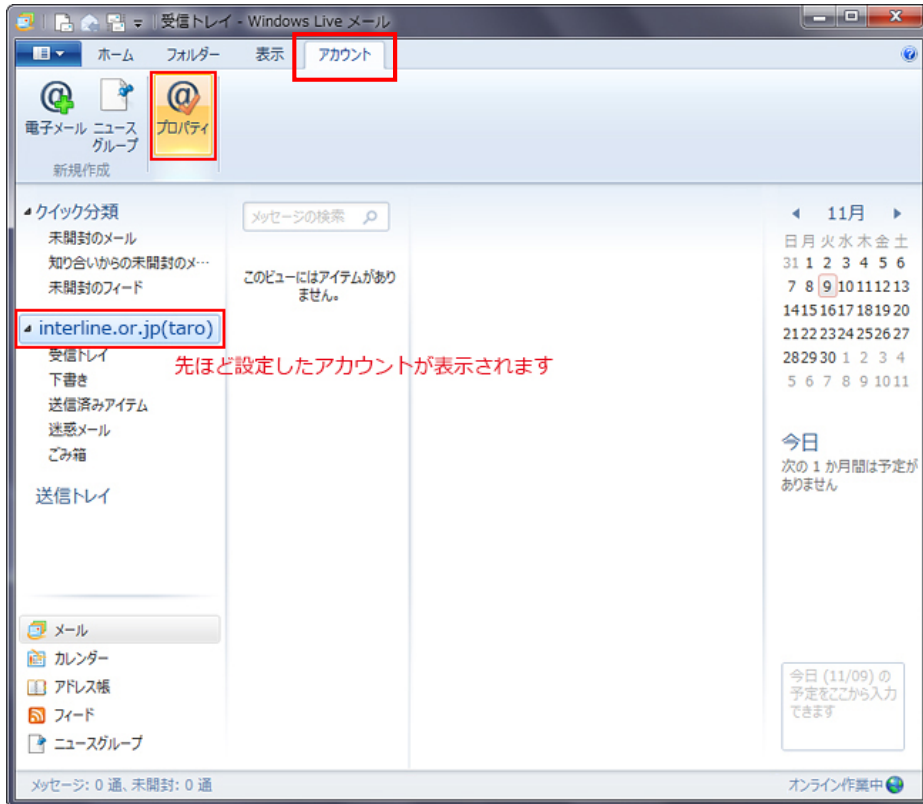
✓ taro@interline.or.jp が追加されました

[別の電子メール アカウントを追加する](#)

完了(E)

# STEP 6

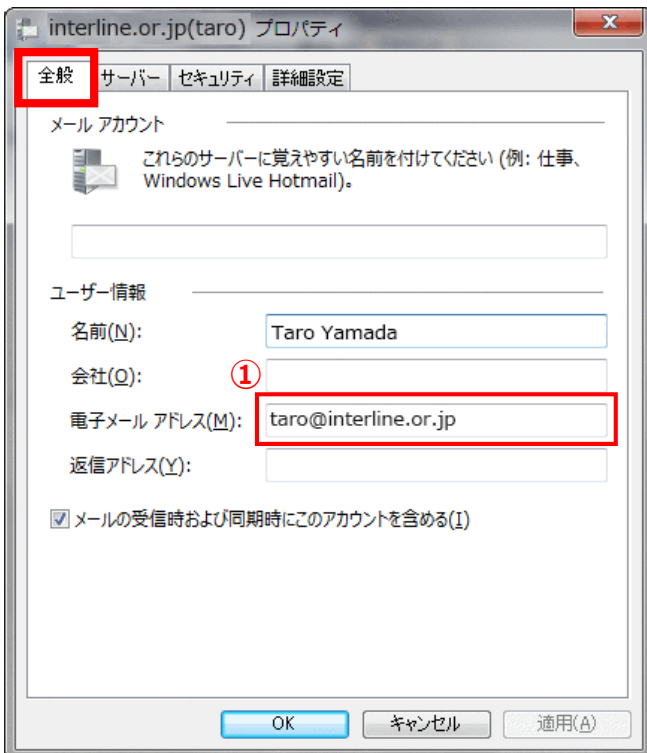
## 受信トレイでアカウントを選択しプロパティを選択



先ほど設定したアカウントが表示されます

# STEP 7

## 全般を選択にし設定資料の通り①を入力



### 「メール アカウント」

わかりやすい名前を入力します  
例) INTERLINE

### 「ユーザー情報」

- 名前(N):  
名前がローマ字で入力されていることを確認します  
例) Taro Yamada
- 会社(O):  
必要に応じて入力します  
※ 個人で使用する場合は空欄にします。
- 電子メール アドレス(M):  
メールアドレス (設定資料①) を入力します  
例) tar@interline.or.jp
- 返信アドレス(Y): 空白  
※ 電子メールアドレスで設定したアドレスとは別のアドレスに返信してもらいたい場合などに設定します。
- メールの受信時および同期時にこのアカウントを含める(I) :  
チェックを入れます

# STEP 8

## サーバーを選択して設定資料通り ②～⑤を入力し設定を選択

interline.or.jp(taro) プロパティ

全般 サーバー セキュリティ 詳細設定

サーバー情報

受信メール サーバーの種類(M) POP3

受信メール (POP3)(I): ④

送信メール (SMTP)(U): ⑤

受信メール サーバー

ユーザー名(A): ② taro@interline.or.jp

パスワード(D): ③

パスワードを保存する(W)

クリアテキスト認証を使用してログオンする(C)

セキュリティで保護されたパスワード認証でログオンする(S)

認証された POP (APOP) を使用してログオンする(P)

送信メール サーバー

このサーバーは認証が必要(V)

設定(E)...

OK キャンセル 適用(A)

### 「サーバー情報」

- 受信メール サーバーの種類(M)：「POP3」
- 受信メール (POP3)(I)：設定情報④
- 送信メール (SMTP)(U)：設定情報⑤

### 「受信メールサーバー」

- ユーザー名(A)：メールアドレス（設定情報①）が入力されていることを確認します  
例) taro@interline.or.jp
- パスワード(D)：パスワード（設定情報③）が入力されていることを確認します  
※セキュリティ保護のため、パスワードは(●)で表示されます。
- クリアテキスト認証を使用してログオンする(C)を選択します

### 「送信メールサーバー」

- このサーバーは認証が必要(V)：チェックを入れます

# STEP 9

## 送信メールサーバーを設定

送信メールサーバー

ログオン情報

受信メールサーバーと同じ設定を使用する(U)

次のアカウントとパスワードでログオンする(O)

アカウント名(C):

パスワード(P):

パスワードを保存する(W)

セキュリティで保護されたパスワード認証でログオンする(S)

OK キャンセル

# STEP 10

## 詳細設定を選択し 設定資料④⑤のポート番号を入力し OKを選択

interline.or.jp(taro) プロパティ

全般 サーバー セキュリティ **詳細設定**

サーバーのポート番号

送信メール (SMTP)(Q): **587** ⑤ 既定値を使用(U)

このサーバーはセキュリティで保護された接続 (SSL) が必要(Q)

受信メール (POP3)(I): **110** ④

このサーバーはセキュリティで保護された接続 (SSL) が必要(C)

サーバーのタイムアウト(I)

短い  長い 1分

送信

次のサイズよりメッセージが大きいか場合は分割する(B) 60 KB

配信

サーバーにメッセージのコピーを置く(L)

サーバーから削除する(B) 5 日後

[ごみ箱] を空にしたら、サーバーから削除(M)

**OK** キャンセル 適用(A)

### 「サーバーのポート番号」

- このサーバーはセキュリティで保護された接続 (SSL) が必要(Q) : チェックしません
- 送信メール (SMTP)(O): **587** を入力します  
※ チェックを入れてから数値「587」の入力をおこなってください。  
数値の入力後にチェックを入れたりはずしたりすると、数値が変更されてしまいます。  
その場合は、チェックを入れた状態で「587」ともう一度入力してください。
- 受信メール (POP3)(I): **110** を入力します
- このサーバーはセキュリティで保護された接続 (SSL) が必要(C) : チェックしません